
■□■

□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 254

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

// INDEX //

- 1・2022年4月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～酒気帯びチェック体制は万全ですか
- 3・交通事故の裁判事例～無灯二輪車との事故で右折車の不法行為責任を否定
- 4・今日の朝礼話題～路上からバック駐車するときは安全確認を省略しない
- 5・【新発売】小冊子「横断歩行者・自転車を見落とすな！」
- 6・【好評発売中】テスト「運転者のための『危険感受度』診断チェック」
- 7・【お知らせ】書籍／自己診断テストのデータ販売開始のご案内

// //

★4月後半の安全管理ごよみ

◆1日（金）～30日（土）

——20歳未満飲酒防止強調月間（国税庁／厚生労働省など）

——「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」準備期間（厚生労働省）

◆28日（木）

——労働安全衛生世界デー・国際労働災害犠牲者追悼日（国際労働機関）

——洗車の日

◆29日（祝・金）

——昭和の日

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2022/03/10/kongetsu-untenganri-2022-apr/>

■危機管理意識を高めよう

『酒気帯びチェック体制は万全ですか』

昨秋にも掲載しましたが、いよいよ4月1日から、安全運転管理者選任事業所においても、トラック・バス・タクシーなど青ナンバー事業所同様に運転前+運転後の酒気帯びチェックとその記録が義務づけられます（検知器によるチェックは10月1日から施行）。

依然として飲酒運転の死亡事故率が高止まりで、酒気を帯びて運転をする運転者は根絶できていません。

こうした運転者にはアルコール依存症の人が隠れていると言われ、事業所でも把握が重要です。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2022/04/01/kikikanri-drinking-check/>

■交通事故の裁判事例

今回は、深夜、乗用車で信号交差点を右折する際に、無灯火で直進してきた自動二輪車と衝突した事故で、乗用車と自動二輪車双方の運転者の不法行為責任が争われた事例を紹介します。

『夜間右折時に無灯火二輪車と衝突した事故で乗用車の不法行為責任を否定』

【事故の状況】

平成26年8月5日午後11時18分ごろ、Aは東京都あきる野市内の信号交差点を右折していたところ、無灯火で直進してきた自動二輪車Bと衝突しました。

この事故で、運転していたBと同乗していたCが死亡し、A車も経済的全損しました。

BとCの両親らは、Aに対して不法行為による逸失利益等の損害賠償を請求しました。

これに対してAらは、BとCは無灯火かつ高速でAの直前に突っ込むという極めて危険な行為をしており、Aに生じた損害を賠償する責任を負うなどと反論し、逆に損害賠償を請求しました。

【裁判所の判断】

「運転者にとって、夜間の走行時に前照灯を点灯させるというのは必ず順守されるべきごく基本的な義務であり、深夜という時間帯であればこれを失念するというのも考えにくい。そうすると、深夜交差点を右折する自動車の運転者としては、対向直進車は前照灯を点灯しているものと信頼してよく、無灯火で進行してくる車があり得ることまで予見すべき義務はないと解される」

「証拠によれば、衝突前の二輪車の速度が時速30～40キロといったものではなく、これを大きく上回る速度であったことが認められ、このような速度を前提とすれば、二輪車が無灯火であったことや交差点の視認状況などに照らせば、Aは二輪車が衝突地点まで30m前後の距離に迫った時点では未だ同車を発見できず、これより間近にまで迫った時点では二輪車との衝突を回避しえなかったと判断できる」

として、BとCによる損害賠償請求を認めませんでした。

逆に、(事故時に同乗していた)Cは、事故前には二輪車を運転しており、高速度かつ無灯火で運転して後方を振り返りながらBと会話するなどしており、CはBとともに共同不法行為責任を負うとして、BとCの両親らに車両損害の約22万円の支払いを命じました。

(東京地裁 令和元年6月25日判決)

■今日の朝礼話題

『路上からバック駐車するときは安全確認を省略しない』

さる3月25日午前11時20分ごろ、長崎市内の住宅街の路上で乗用車を運転していた女性が、自宅の駐車場にバックで入れようとしたところ、後方にいた高齢者と衝突して死亡させる事故がありました。

詳しい事故原因はわからないのですが、毎日同じ行動をしているために、運転者の行動がパターンしてしまい、安全確認を省略してしまったのではないかと思います。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2022/03/31/tw-back-parking/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

■【新発売】小冊子「横断歩行者・自転車を見落とすな！」

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 770円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

近年、道路を横断中の歩行者や自転車が車に轢かれる事故が増加しています。事故の原因は、ドライバーが漫然運転をしていて前方をよく見ておらず、発見が遅れたケースがほとんどです。

本冊子では、対歩行者や自転車との事故が多く発生する6つの交通場面において、横断歩行者等を見落とさないためにチェックすべきポイントをイラストを用いて詳しく解説しています。

ぜひ事業所での対横断歩行者・自転車の事故防止に向けてご活用ください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3tfTMRF>

■【好評発売中】自己診断テスト「運転者のための『危険感受度』診断テスト」

※仕様 A4判／4ページ（複写式）／カラー刷

※価格 550円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

事故を防ぐためには、あらかじめ危険を予測して運転する能力、つまり危険感受性を高めることが大切です。

本テストは、6つのイラストを見て、自身が「危ない」と思う危険要因を答えることで、自分自身の危険に対する感受性を診断していただくことができる、一般ドライバー向けの自己診断テストです。

本テストだけで「右折時」「左折時」「バック時」の3つの交通場面それぞれにおける危険感受性と、「目に見える危険」「死角に潜む危険」「自車の行動が生む危険」の3つの危険要素に対する危険感受性の、2つの軸から診断することができます。

ぜひご自身の危険感受度の低い部分を把握して、今後の事故防止へとお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3H0wO4i>

■【お知らせ】書籍／自己診断テストのデータ販売開始のご案内

2022年1月より、社内ネットワークによる教育にご利用いただける弊社出版物のデータ販売を開始いたしました。

本サービスにより、多岐にわたる弊社の出版物を貴社の社内ネットワーク上にアップすることが可能になりますので、ぜひご検討くださいませ。

(※) 本サービスはデータの提供のみとなります。貴社の教育システム構築には対応しておりませんので、悪しからずご了承くださいませ。

●販売商品

パワーポイントファイル（書籍）、PDFファイル（自己診断テストデータ）

※いずれもテキスト取出しが可能です

●ご購入価格

基本料金（書籍／自己診断テスト1種）110,000円（税込）＋ご利用者

1名ごとに77円（税込）

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3ISprNT>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

（令和4年3月31日送信）

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15ピアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

